

『安全・安心』

～誰もが安全・安心に暮らせる町へ～

災害時における情報伝達手段となる防災行政無線が聞こえづらいという問題の解消や、伝達手段の多様化を図るため、防災行政無線補完システムを導入します。災害による犠牲者を一人も出さないために、災害に強いまちづくりを進めます。

多くの町民の皆さんが利用する大磯駅前交通安全性の向上に向けた取り組みを進めます。

また、高齢者や高齢者世帯の方々安心して暮らし続けていただけるよう、生まれてから生涯を閉じるまでを総合的に考えた「終活」を支援する仕組みづくりに着手します。



大磯駅前広場

『経済』

～産業の取組みの相乗効果により、町の活性化へ～

「大磯港賑わい交流施設」を、2020年のオープンに向けて整備を進めます。地元の農水産物や加工品、町の特産品などを取り扱う「賑わい創出」の拠点として、農業、漁業、商工業などの産業の活性化や、町内外から訪れる多くの方々の交流の場とします。

農林業については、鳥獣害対策や、いくつになっても健康で、無理なく楽しく農業を続けることができる方策を学ぶ講座を実施するとともに、自伐型林業の担い手育成研修会などの取組みも進めます。

このような産業分野の取組みの相乗効果により、町の活性化を図ります。



大磯港賑わい交流施設予定地

平成31年度 施政方針

『継続』と『一貫』

～「継続性」と「一貫性」を持ち、さらに磨き上げ結果へつなげる～

平成31年2月14日（木）に行われた町議会本会議において、中崎町長が平成31年度の町政運営の基本的な考え方となる施政方針を述べました。 政策課 内線205

『子育て』

～子育て世代に寄り添い、「子育てで選ばれる町」へ～

誰もが安心して出産・子育てができる切れない支援体制となるよう、保健センターに母子保健コーディネーターを配置します。

そして、現在、出張型で実施している「東部つどいの広場」を常設化し、地域に根ざした子育てサービスを提供するとともに、子育て世代の身近な拠り所として、「(仮称)東部子育て支援センター」を整備します。

また、10月から予定されている幼児教育・保育の無償化への対応や、「5歳児健診」、町立幼稚園における「満3歳児保育」などの保育サービスを引き続き実施します。



東部つどいの広場

平成31年度は、町長として3期目のスタートの年となります。町に住む子どもから高齢者までのすべての世代の方々を、社会全体で支えることができる仕組みを実現し、あらゆる世代が集い、誰もが「安全・安心」に生き生きと暮らすことができるまちづくりを進めます。

そのために、「子育て」、「教育」、「健康」、「経済」、「安全・安心」の5つを重点項目として掲げ、事業の「継続性」と「一貫性」を持ち、さらに磨き上げ、最終目標である「交流人口の増加と定住人口の安定化」へつなげる取組みを進めてまいります。



平成31年度の主な事業

「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」の実現のために

町の指針である、第四次総合計画（平成18年度～平成32年度）の5つの施策の大綱に基づき、主な事業を紹介します。

1 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり		4 心豊かな人を育てるまちづくり	
新 防災行政無線整備事業(補完システムの導入)	3,471万円	新 町立小中学校空調設備借上事業	2,350万円
新 地域会館AED借上事業	88万円	教育研究所整備事業	1,496万円
新 (仮称)東部子育て支援センター運営事務事業	189万円	子ども・子育て支援新制度運営事業(幼児教育・保育無償化の開始など)	4億5,968万円
継 (仮称)東部子育て支援センター整備事業	2,654万円	コンピュータ教育推進事業(小学校)	903万円
子育て・親育ち支援事業(子ども発達相談員の配置など)	929万円	生涯学習推進事業(OISO学び塾など)	272万円
妊婦健康診査事業	1,158万円	図書館資料整備事業	982万円
健康増進事業(おあしす24健康おおいぞなど)	415万円	旧吉田茂邸運営事務事業	1,316万円
スポーツ健康イベント事業(チャレンジデーなど)	113万円	文化財保護事業(相模国府祭調査など)	763万円
2 町民の力や知恵が集まるまちづくり		5 個性と魅力と活力のあるまちづくり	
地域会館整備事業	3,911万円	新 明治記念大磯邸園整備事業	13億1,541万円
町村情報システム共同運営事業(コンビニ交付サービスの新規導入など)	7,386万円	歴史的建造物等整備事業	1,026万円
広報運営事務事業	1,523万円	橋りょう長寿命化修繕事業	4,902万円
消防専用無線維持管理事業		国府本郷西小磯1号線整備事業	7,492万円
[消防指令センター共同運営(平塚市・大磯町・二宮町)]	942万円	都市交通推進事業(交通空白区域等のバス・タクシーの運行など)	2,173万円
3 人と自然が共生する循環のまちづくり		農業振興普及事業	94万円
継 大磯港みなとオアシス推進事業	3億4,729万円	農地活用・鳥獣対策事業	804万円
海水浴場振興事業	2,054万円	商工業振興対策事業	2,712万円
運動公園維持管理事業	2,082万円	新たな観光の核づくり推進事業	245万円
再生エネルギー等推進事業	168万円	観光案内板整備事業	1,560万円
リサイクルセンター運営事務事業	1億5,014万円	西久保休憩施設整備事業	2,008万円
ごみの分別及び減量化推進事業	201万円		
ごみ処理広域化運営事業(環境事業センター・リサイクルプラザ負担金等)	9,896万円		

『健康』

～健康への意識を高め、健康寿命の延伸へ～

9年目を迎えた「おあしす事業」は、町民の皆さんの間に広く定着した日常的な取組みになっており、健康への意識を自然と高めることへつながっています。また、「ロコモ」や「アンチロコモ教室」も、ロコモ予防への関心を高めるといった成果が出ています。

歯と口腔の健康づくりを推奨するため、成人歯科健診の対象者を拡充します。これらの健康づくり事業を総合的に進め、健康寿命の延伸につなげます。

スポーツにおいては、昨年初参加した「チャレンジデー」にも参加し、スポーツを楽しむことから健康へとつなげます。



おあしす事業

『教育』

～すべての子どもたちのために、教育環境の整備へ～

子どもたちへの教育相談やサポート体制の充実のため、「大磯町教育研究所」を旧横溝千鶴子邸に移転するとともに、学校に通うことができない子どもたちに学習の場を提供するため、適応指導教室も併せて移転します。

子どもたちの情報活用能力の育成のため、小学校にタブレットパソコンを導入します。また、昨年の記録的な猛暑を受け、大磯幼稚園の全室と町立小中学校のすべての普通教室に空調設備を設置します。

中学校給食については、子どもたちが笑顔になるような給食の提供に向け、1日も早い再開を目指します。



教育研究所移転(旧横溝邸)